



R7年 9月

市野谷つばさ保育園

夏の遊びを通してぐんとたくましくなった子どもたち。一人ひとりの表情を見ていると、少しずつ日焼けした表情に、夏の遊びやさまざまな経験を通して身も心もひとまわりたくましくなった様子が伝わってきます。

9月も元気いっぱい、実りの秋を迎えたいと思います。



1日(月) 乳児身体測定

2日(火) 幼児身体測定

5日(金) 引渡訓練

13日(土) 子育て相談会

18日(木) お誕生会

※乳児 10:40～、幼児 10:20～
開始予定です。

26日(金) 運動会予行練習

※詳細は後日お知らせします。

※全園児17:30までの引渡しとなります。
詳細は先日配信した手紙をご確認ください。

イヤイヤ期の乗り越えかた

～子育て支援より～

Q. イヤイヤ期っていったい何なの？

A. 体、言葉、気持ちがまだ発達途上で、まだ自分と相手の心や見え方が違うことを分かっていません。イヤイヤ期後は一歩階段を上るように成長します。その階段を越えて4～5歳ぐらいになると自分で機嫌をとれたり、おさめたりできるようになってきます。

Q イヤイヤした時どうするか

A. 発達心理学では共感や受容が重要だと言われている為、「イヤだね」と共感的な言葉をかけるといいと思います。自分の思いを共感してもらった経験があるから、人の思いを受け入れられるようになります。また、自分の思いが必ずしも叶わない経験があるから、折り合いをつけて人のいうことを聞くなど自己抑制の力にもなります。

忙しい時には共感も難しいですね。真正面から向き合わない選択肢もあるので令和版イヤイヤ期対処法を紹介します。

ステップ1「あ！○○するんだっ！」作戦

突然、まったく関係ない言葉をかけてみる。「あ！お茶を飲まなくちゃ！」「あ～あ眠たくなっちゃった」など空気を変える言葉で「何だろう？」とみてきたりすることもあります。あまり気にしないで、日常をはじめてしまいましょう。子どもが気持ちを切り替えるきっかけを作れるといいですね。

ステップ2 イヤイヤ物語にピリオドを打つ

イヤイヤがおさまった後に、「さっき何がイヤだったの？」と気持ちを蒸し返すのはやめましょう。終わった後には触れず、「冷たいお水を一緒に飲もう」「外にちょうちょがいたから探しに行こう」など前向きな気持ちになれる言葉をかけるなど何か一緒にできることを提案し、「さっきのイヤイヤはもう終わった話」とピリオドを打ちましょう。

イヤイヤ期は個人差が大きいので、周りとは比べずに子どもの少し前の姿と比べるようにしましょう。あっという間に成長し、イヤイヤしていたなと思えるときがきます。これからの変化を楽しんでほしいと思います。



パパ・ママ先生にないませんか？



私たちの園では子どもたちが毎日過ごしている園での生活を保護者の方々にも実際に体験していただける『1日保育士体験』を実施しています。

子どもたちと一緒に遊んだり、給食やお昼寝の準備を手伝ったりすることで、普段とは違った我が子の姿やお友だちとの関わりを間近で見ることができます。

保育士体験を通して、集団の中の子どもの姿を見ることで子育てに対して前向きに捉え、子供の成長を実感したり育児に対する視野を広げ親心を育てるきっかけにさせていただけたら、という願いも込められています。また、お家での様子や園での様子を共有することでよりコミュニケーションを深めていき、家庭と園が一緒に子どもの育ちを支えていけたらと思います。

毎年、パパ先生・ママ先生は子どもたちからも大人気です♡

普段はなかなか見られない園での我が子やお友だちとの関わりをのぞいてみませんか？

「こんな一面があったんだ！」という発見もきっとたくさんあります♪

★実際に参加して下さった保護者の方の声です★

先生方が子どもたち一人ひとりをよく理解していて個に応じた対応や声掛けが素晴らしいと思った。
異年齢でも関係なく一緒に過ごせている様子がいい雰囲気だと思った。

子どもたちが自分で食べる時間を決めて来ることに驚きました。
食べられる量も自分で決められるのは安心だと思いました。

我が子がお友だちと過ごしているのをみれて良かった。
子どもたちが想像以上に自分とコミュニケーションをとってくれたことは驚きました。



保育目標

- すみれ ・他児に興味を持ち、自ら関わろうとする。
・好きな遊びを見つけ、保育者と他児とじっくり楽しむ。
- つくし ・さまざまな遊びを通して他児と一緒に楽しみ、気持ちを分かち合う。
・自分で出来ることが増えていく喜びを感じる。
- たんぼぼ ・水分補給や手洗いを自分から進んで行き、一人ひとりが健康に過ごせるようにする。
・保育者や友だちとコミュニケーションを図りながら思ったことを伝えられるようにする。
- ゆり ・集団のきまりを守りながら行動する。
・いろいろな身体の動きに興味を持ち、友だちと一緒に運動遊びを楽しむ。
- ばら ・自分の思いと相手の思いの違いに気づき、折り合いをつけながら関わりを深める。
・やりたい遊び、一緒に遊びたい友だちを見つけ楽しむ。
- ひまわり ・友だちと共通の目的をもって、協力して活動に取り組む。
・季節の移り変わりに気づき、自然や生き物に興味を持つ。